

# 空模様の家

日本には四季の移ろいと共に、さまざまな個性を持った雨が訪れます。かつて私たちが名前に覚え、生活を彩っていたこうした雨の故々も、現代の生活のなかでは次第に色褪せ、

いつしか天気予報に見るような記号化された「雨」になっていきました。

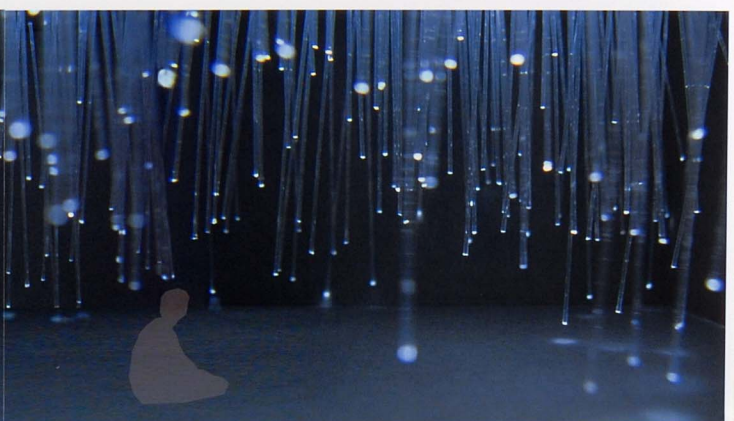
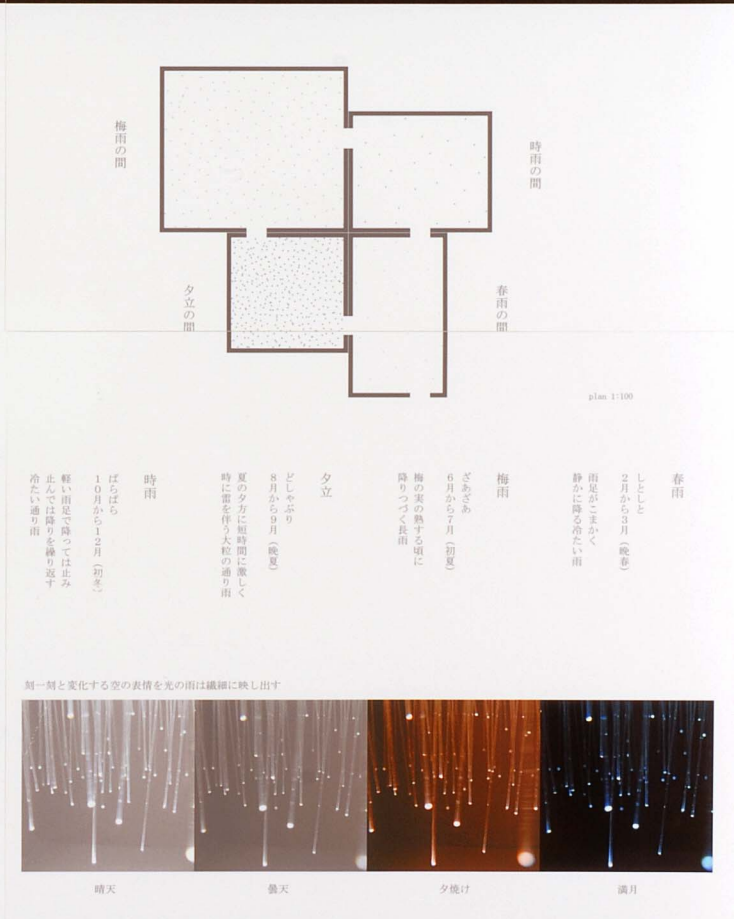
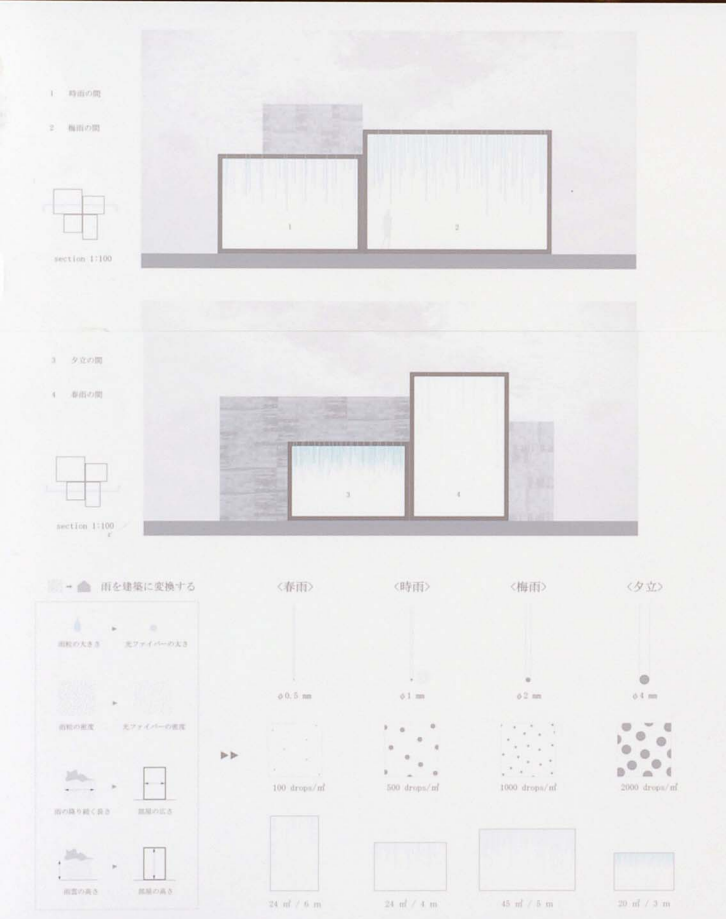
ここでは季節を代表する4つの雨「春雨、梅雨、夕立、時雨」を、

天井に埋設された光ファイバーを使った光の雨として、建築化します。

刻一刻と変化する空の表情を、光の雨は繊細に映し出します。

住民は性格の異なる空模様を持つ部屋をめぐりながら、

雨に寄り添って生活を営んでいきます。



銀賞1 「空模様の家」 横浜国立大学 木野史朗